

連携項目 (7項目)	区分 (11区分)	事業 (19事業)	取組内容の概要	KPI					関係市町
				指標	基準値 (時点)	現状値 (時点)	目標値 (時点)	進捗状況	
(1) 生活機能の強化									
ア 医療				【数値目標】 ドクターヘリの 圏域内カバー率	100% 2018 (H30) 年	100% 2019 (R1) 年度	100% 2023 (R5) 年	KPIが目標を達成 (維持) している。	全市町
	①初期救急医療 体制の充実	夜間急病センターの運 営支援	関係市町が連携し、函館市夜間急病センターに対する運営支援 を行う。	函館市夜間急病 センター開設日 数の維持	365日 2017 (H29) 年度	365日 2019 (R1) 年度	365日 2023 (R5) 年度	KPIが目標を達成 (維持) している。	北斗市 七飯町
	②広域救急医療 体制の充実	ドクターヘリの運航支 援	圏域全体を対象としたドクターヘリの運航支援を行うほか、必要な施設 整備を行う。H27.2.16運航開始。	事前選定冬季間 使用可能ランデ ブーポイントの 箇所数	50箇所 2018 (H30) 年度	55箇所 2020 (R2). 4. 1	R5>H30 2023 (R5) 年度	現状値が55箇所と基準値 に対し、+5箇所となっ ており、KPIが目標値 (向 上) に向けて順調に推移 している。	全市町
		二次救急医療体制の確 保・維持	関係市町が連携し、圏域で行われる病院群輪番制に参加する医療機 関に対する運営支援を行う。	参加病院数	11病院 2018 (H30) 年度	11病院 2020 (R2). 4. 1	11病院 2023 (R5) 年度	KPIが目標を達成 (維持) している。	北斗市 七飯町
		脳疾患救急搬送体制の 運営支援	脳疾患救急患者の中心市基幹病院への搬送体制を支援を行う。	中心市の受入医 療機関数	3病院 2017 (H29) 年度	3病院 2019 (R1) 年度	3病院 2023 (R5) 年度	KPIが目標を達成 (維持) している。	江差町・上ノ国町 厚沢部町・乙部町
		医療情報共有化の推進	連携市町の医療機関 (町立病院等) に情報共有のための設備 (サーバー等) を設置し、中心市の基幹病院との間における医 療情報の共有を推進する。	利用医療機関数	5病院, 5診療所 2017 (H29) 年度	5病院, 5診療所 2019 (R1) 年度	5病院, 5診療所 2023 (R5) 年度	KPIが目標を達成 (維持) している。	江差町・上ノ国町 厚沢部町・乙部町 奥尻町
	③医療従事者の 確保・養成	救急救命士病院実習の 実施	圏域内の中核病院等において、救急救命士病院実習を実施する ことにより、救急救命士の技術・能力の維持・向上を図る。	圏域内の救急救 命士の有資格者 数	269人 2018 (H30) 年度	294人 2020 (R2). 4. 1	R5>H30 2023 (R5) 年度	現状値が294人と、基準値 に対し、+25人となっ ており、KPIが目標値 (向上) に向けて順調に推移し ている。	全市町
イ 福祉	①障がい者福祉の 充実	障害者地域生活支援事 業の推進	障害者総合支援法に基づき障がい者の自立と社会参加を促進す るため、基幹相談支援センター事業、手話・要約筆記者等派遣 事業、地域活動支援センター事業など各種相談・支援事業を社 会福祉法人やNPO法人等に委託し実施する。	基幹相談支援セ ンターにおける 相談支援人数	695人 2017 (H29) 年度	680人 2019 (R1) 年度	R5>H30 2023 (R5) 年度	現状値が680人と、基準値 に対し、▲15人となっ ており、KPIが目標値 (向 上) を若干下回ってい る。	北斗市 七飯町

連携項目 (7項目)	区分 (11区分)	事業 (19事業)	取組内容の概要	KPI				進捗状況	関係市町
				指標	基準値 (時点)	現状値 (時点)	目標値 (時点)		
(1) 生活機能の強化									
ウ 産業振興				【数値目標】 圏域内の観光入 込客数	1,274万人 2017(H29)年度	1,321万人 2019(R1)年度	1,453万人 2023(R5)年度	現状値が1,321万人と、基 準値に対し、+47万人と なっており、KPIが目標値 (向上)に向けて推移し ている。	全市町
	①広域観光の推進	広域観光推進に係るプ ロモーション活動およ びイベント等の実施	国内外の観光客誘客促進を図るため、各種プロモーション活動お よびPRイベントを実施する。 道の駅や観光交流施設を活用し、PRを実施する。	プロモーション 活動実施回数	国内177回, 海外19回 2017(H29)年度	国内187回, 海外16回 2019(R1)年度	累計(延べ) 国内900回, 海外100回 2019(R1)年度 ~ 2023(R5)年度	現状値で進捗率が国内は 20.8%となっており、KPI が目標値(向上)に向 かっているが、海外は 16.0%と、目標値を下回っ ている。	全市町
	②滞在型観光の 促進	滞在型観光メニューの 共同開発	各市町が連携し、それぞれの特色を活かした滞在型観光メ ニューを開発する。	観光入込客数に 占める宿泊者数 の割合	32.2% 2017(H29)年度	27.2% 2019(R1)年度	R5>H29 2023(R5)年度	現状値が27.2%と、基準値 に対し、▲5.0%となっ ており、KPIが目標値(向 上)を下回っている。	全市町
	③地場産業の育成	販路開拓支援	国内外の百貨店や食品スーパーにおける物産展やフェア等の開 催、函館市アンテナショップの運営等の事業をとおり、圏域内 の企業の販路開拓を支援する。	物産展・フェア の開催回数	10回 2017(H29)年度	10回 2019(R1)年度	10回 2023(R5)年度	KPIが目標を達成(維持) している。	全市町
		創業支援の推進	函館市、北斗市および七飯町が相互に連携をとり、(公財)函 館地域産業振興財団とともにビジネスプラン作成スクール等の 創業支援事業を実施する。	創業者数	累計60件 2015(H27)年度 ~ 2017(H29)年度	30件 2019(R1)年度 ~ 2023(R5)年度	累計245件 2019(R1)年度 ~ 2023(R5)年度	現状値で進捗率が12.2%と なっており、KPIの目標値 を下回っている。	北斗市 七飯町
	先進技術の開発・利用 促進および高度技術の 普及支援	(公財)函館地域産業振興財団が実施する地域企業の技術の高 度化に資する先進技術の研究開発および高度技術の普及等に係 る事業を支援する。	圏域内企業を対 象とした個別相 談実績	平均388件 2014(H26)年度 ~ 2018(H30)年度	673件 2019(R1)年度	累計1,950件 2019(R1)年度 ~ 2023(R5)年度	現状値で進捗率が34.5%と なっており、KPIの目標値 に向かっている。	全市町	
(2) 結びつきやネットワークの強化									
ア 地域公共交通				【数値目標】 乗合バス事業収 支率	71.7% 2017(H29)年度	66.1% 2019(R1)年度	81.1% 2023(R5)年度	現状値が66.1%と、基準値 に対し、▲5.6%となっ ており、KPIが目標値(向 上)を下回っている。	全市町
	①圏域内における 公共交通手段の維 持および確保等	第三セクター鉄道への 支援	五稜郭~木古内間における第三セクター鉄道への支援を連携し て行う。	1日の運行本数 (上下計)	37本 2017(H29)年度	38本 2019(R1)年度	37本 2023(R5)年度	現状値が38本と、基準値 に対し、+1本となっ ており、KPIが目標値(維持) を上回り順調に推移して いる。	北斗市 木古内町
		生活バス路線の維持・ 確保	圏域内を結ぶ路線バス等の生活路線の維持・確保を図るため、 運行事業者に対する支援等を行う。	路線バスの利用 者数の増減率 (A)と人口増減 率(B)の差	A(+1.6%) > B(▲1.35%) 2017(H29)年度	A(+0.6%) > B(▲1.55%) 2019(R1)年度	A≥B 2023(R5)年度	路線バスの利用者数の対 前年度増減率が現状値で 0.6%増加し、人口の対前 年度増減率の1.55%減少よ りも増加率が高く、KPIが 目標値(向上)に向けて推 移している。	全市町

連携項目 (7項目)	区分 (11区分)	事業 (19事業)	取組内容の概要	KPI					関係市町
				指標	基準値 (時点)	現状値 (時点)	目標値 (時点)	進捗状況	
(2) 結びつきやネットワークの強化									
イ 道路等の交通 インフラの 整備	①圏域内における 交通ネットワー クの形成	道路整備期成会活動の 促進	圏域内における基幹道路等、交通インフラ整備促進のための道 路整備期成会活動を促進する。	【数値目標】 道路整備期成会 要望活動回数	4回 2017 (H29) 年度	4回 2019 (R1) 年度	4回 2023 (R5) 年度	KPIが目標を達成 (維持) している。	全市町
				道路整備期成会 の組織数	4期成会 2017 (H29) 年度	4期成会 2020 (R2) 4. 1	4期成会 2023 (R5) 年度	KPIが目標を達成 (維持) している。	全市町
ウ 地域内外の 住民との交 流・移住促 進	①圏域における 国際化の推進	外国人住民受入体制の 整備 <～令和元年度 留学 生等受入体制の整備>	国際交流団体等が主催する事業に対するサポート体制を構築す る。	【数値目標】 外国人住民の人数	2, 029人 2018 (H30) 年	2, 664人 2020 (R2) 4. 1	R5≥H30 2023 (R5) 年	現状値が2, 664人と、基準 値に対し、+635人となっ ており、KPIが目標値 (向 上) に向けて順調に推移 している。	全市町
				外国人住民で在 留資格等の区分 が「技能実習」 の人数	1, 869人 2020 (R2) 年	—	R5>R2 2023 (R5) 年	—	全市町
				外国人観光客誘客によ る地域国際化	外国人観光客の受入体制充実を図り、交流人口の拡大に努めな がら、地域の国際化を推進する。	外国人宿泊客数	約59万人 2017 (H29) 年度	約55万人 2019 (R1) 年度	R5>H29 2023 (R5) 年度
(3) 圏域マネジメント能力の強化									
ア 人材育成等	①職員の合同研修 等の実施	職員研修に係る情報共 有および合同研修の実 施	圏域全体で職員研修に係る情報を共有するとともに、圏域市町 職員の資質向上を図るための合同研修を実施する。	【数値目標】 合同研修参加自 治体数	17自治体 2017 (H29) 年度	17自治体 2019 (R1) 年	18自治体 2023 (R5) 年度	現状値が17自治体と、基 準値に対し同数となっ ており、KPIが目標値 (向 上) を下回っている。	全市町
				合同研修の参加 者総数	295人 2017 (H29) 年度	92人 2019 (R1) 年度	295人 2023 (R5) 年度	現状値が92人と、基準 値に対し、▲203人となっ ており、KPIが目標値 (維 持) を下回っている。	全市町
				各プログラムに おける地域職員 等の平均参加者 数	35人 2017 (H29) 年度	38人 2019 (R1) 年度	50人 2023 (R5) 年度	現状値が38人と、基準 値に対し、+3人となっ ているが、KPIが目標値 (向 上) を下回っている。	江差町